

様式 5

平成 28 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 28 年 10 月 17 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・准教授

申 請 者 名 中村 勝一

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・ <u>学会参加</u>) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	2016 IEEE Conference on e-Learning, e-Management and e-Services
事業実施期間	平成 28 年 10 月 9 日 ~ 平成 28 年 10 月 14 日
成果の概要	<p>2016 IEEE Conference on e-Learning, e-Management and e-Services (IC3e 2016) は、マレーシア・ランカウイの Holiday Villa Resort において開催された。本国会議は、理論から応用システムの設計開発まで、コンピュータ科学分野の主要なトピックを扱い、先駆的な研究者が集う学会の一つである。5 回目の開催となる今年の IC3e では、併催国際会議や特別セッションなどを含めて数多くの発表が行われ、活気ある議論がなされていた。</p> <p>今回の学会では、“Methods for Dynamic Extraction of Important Portion from the Context Network Based on the Contribution Degree on the Small World Structure”と題した論文について、発表した。</p> <p>本研究は、データ工学（コンピュータサイエンス領域）と Learning Analytics（教育工学領域）に関わるものだが、今回の学会には双方の分野の研究者が出席しており、応用システムの設計・運用ビジョンに関する質問なども含め、多様な視点・アプローチに接し、議論・意見交換することができたことは貴重な機会であったと考える。</p>